

平成30年11月29日(木)

伊集院静という小説家

伊集院静(いじゅういん しずか、1950年2月9日～)は、日本の作家、作詞家。伊集院 静は作家としてのペンネームである。代表作に『機関車先生』。山口県防府市を舞台とした自伝性の強い『海峡』三部作等がある。

作詞家としての筆名は伊達 歩(だて あゆみ)。この名で作詞家としても活躍。近藤真彦に提供した『愚か者』で、1987年に第29回日本レコード大賞を受賞した。その他『ギンギラギンにさりげなく』などのヒット曲がある。

ちなみに、今の奥さんは篠ひろ子。「寺内貫太郎一家」というテレビドラマに、お涼さんという役柄で出演していた。小林亜星、西城秀樹や樹木希林などとの共演であった。

前の奥さんは亡くなった夏目雅子。ひまわりのような笑顔がまぶしかった。

伊集院氏は、大学の学部学科の先輩である。大学の野球部に所属し、将来を嘱望されたが、肩を壊し、野球部を退部したと聞く。

その彼が、あるエッセイにこんな一文を書いている。自分の高校時代の恩師と再会した時の場面である。

—先生と握手すると、若い時に少林寺拳法で鍛えた強者の手がひどく小さくなっていた。この小ささが、先生が己のことを差し置いて、私たちに傾けられた情熱の証に思えた。私がどんなことを訊いても、先生は真剣に答えて、道標を示してくださった。

先生に会えたことは私のすべてであった。—

読んだすぐに全身が総毛立った。そんな物言いに、今の自分が収縮した。

生徒に私のすべてであったと言ってもらえる出会いを私は重ねてきたのだろうか。今は重ねているのだろうか。

私を正面の頭上から打ち下ろした一言であった。